

令和6年度

東松山市ごみ処理基本計画年次報告書



2025年（令和7年）7月

東松山市 環境産業部 廃棄物対策課

1. ごみ処理基本計画年次報告書の策定趣旨

東松山市のごみ処理の状況やごみ処理基本計画に基づいて実施された施策の状況等について取りまとめ、環境審議会に報告するとともに、広報紙やホームページ等を通じて広く公表するために、毎年度作成するものです。

2. 計画の体系

基本理念： 豊かな自然と笑顔があふれる持続可能な社会を目指して

基本方針 1 『SDGsを目指した3Rのいっそうの推進』

基本方針 2 『市民・事業者・行政の協働の具体的な展開』

基本方針 3 『適正処理・適正処分の推進と今後の方向性の明確化』

基本方針 1 SDGsを目指した3Rのいっそうの推進

食品ロスの削減をはじめ、生態系への深刻な影響が近年問題視されているプラスチックごみの削減など地球規模の課題の解決に向けて、地域としての目標を設定しながら、ごみの排出抑制や資源化に取り組めます。

1 食品ロスの削減

2015年に採択された持続可能な開発目標（SDGs）において、食品ロスの半減がターゲットとして掲げられたことを受け、「食品ロスの削減の推進に関する法律」が2019年10月に施行され、農林水産省をはじめ関係6府省が連携し、『「もったいない」を取り戻そう！』を合言葉に、食品ロスの削減に向けた運動を展開しています。

埼玉県では、「食べきり SaiTaMa 大作戦」や「彩の国エコぐるめ協力店」の展開を通じ、食品ロス削減に取り組んでいます。

本市では、2016年から「もったいない！」運動や生ごみ処理容器「キエーロ」の普及促進などにより、食品廃棄物の減量化に取り組んでいます。

今後も、買い物や調理、外食など日常の生活の場面で、市民一人ひとりが実践できる情報を具体的に発信し、食品ロスのいっそうの削減を推進します。

【令和6年度】

○市民への啓発

・広報紙10月号掲載 『10月は食品ロス削減月間 おいしく楽しく食べ切ろう！』

2 「もったいない！」運動のいっそうの推進

本市では、2016年から「もったいない！」運動を展開しており、食べ残し削減のための具体的な情報の提供や、家庭や学校・職場、外食時における食品廃棄物のいっそうの削減を図ります。

【令和6年度】

○市民への啓発

- ・広報紙10月号掲載 『10月は食品ロス削減月間 おいしく楽しく食べ切ろう！』
- ・広報紙11月号掲載 『フードドライブを実施』

○家庭での「おいしい食べきり」全国キャンペーン

- ・全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」が10月に行うキャンペーンに参加し、家庭でできる食品ロス削減の取組を呼び掛けました。

○フードドライブの実施

11月5日（火）から15日（金）

社会福祉協議会・廃棄物対策課・社会福祉課・こども支援課 各窓口

11月16日（土）東松山産業祭 会場

食料品を子ども食堂や市内フードバンク団体へ提供しました。

回収点数 315点 回収量 161.653kg

3 マイバッグ運動、過剰包装抑制の推進

2020年7月1日よりレジ袋の有料化が開始されたことを踏まえ、マイバッグ運動や過剰包装抑制に向けた取り組みを推進します。

【令和6年度】

○市民への啓発

- ・広報紙6月号掲載 『埼玉県春のプラごみゼロウィーク』

○市民意識調査（隔年調査） ※令和6年調査

- ・「マイバッグを利用したり過剰な包装を断ったりするなどごみの減量化に努めている」
回答率 82.1%

4 食べ残し等の削減

食べ残しや直接廃棄することを減らす方法等について、広報紙やホームページ等を通じて、食べ残しの削減を図ります。

また、生ごみ処理容器「キエーロ」の普及の推進を図ります。

【令和6年度】

○市民への啓発

- ・広報紙5月号掲載 『生ごみ処理容器「キエーロ」を販売します』

○生ごみ処理容器「キエーロ」

- ・販売数 52基

5 水切りの励行
生ごみの水分は約 8 割とされているため、広報紙やホームページ等を通じて、水切りの徹底を図ります。 【令和 6 年度】 ○市民への啓発 ・ 広報紙 2 月号掲載 『特集 みんなで協力、ごみを資源に!!』
6 分別の徹底
ごみとして出されたものの中に、資源化可能なものが含まれていることもあるため、広報紙やホームページ等を通じて、分別の徹底を図ります。 【令和 6 年度】 ○市民への啓発 ・ 広報紙 8 月号掲載 『ごみ出しルールを守りましょう』 ・ 広報紙 9 月号掲載 『家庭用インクカートリッジ・スマートフォンを回収しています』 ・ 広報紙 11 月号掲載 『雑紙の処分について』 ・ 広報紙 12 月号掲載 『資源とごみの分け方・収集日検索サイトをご利用ください』 ・ 広報紙 2 月号掲載 『特集 みんなで協力、ごみを資源に!!』
7 集団回収の推進
資源の再利用の促進とごみの減量化を図るため、自治会・PTAなどで行う紙類・布類の資源回収に対して補助金を交付しています。 資源回収：紙類（ダンボール・新聞・雑誌・牛乳パック）・布類 補助金額：1kgあたり4円 【令和 6 年度】 ○資源回収奨励補助金 申請団体（件数） 32 団体（101 件） 資源回収量 約 272 t 交付金額 1,088,948 円
8 指定袋制への移行
本市の分別は 5 分別 14 種類で、クリーンステーションに出す袋の色は、可燃物・プラスチック類・びん・かん・ペットボトルは、透明または半透明袋。不燃物は透明袋となっております。指定袋の導入については、情報収集を進めます。
9 ごみ有料化に関する検討
全国的にもごみ有料化を採用する自治体が増加傾向にありますので、実施方法や効果について、比較検討等を行います。 また、受益者負担の適正化を図るため、ごみ処理手数料の見直しを検討します。

基本方針２ 市民・事業者・行政の協働の具体的な展開

排出から処理・処分までのごみ処理の流れ自体、市民・事業者・行政の協働作業であり、情報の共有や相互連携と役割分担を基本に、より有効かつ効果的に取り組みを推進します。

１ 広報活動の展開

ごみ処理に対する市民の理解や正しい分別方法の普及浸透を図るため、広報紙やホームページ等を通じて、情報発信をしております。

【令和６年度】

○市民への啓発

- ・令和６年 ７月号掲載『パソコンの処分方法』
- ・令和６年 ８月号掲載『ごみ出しルールを守りましょう』
『家電リサイクル法対象品の処分方法』
- ・令和６年 ９月号掲載『家庭用インクカートリッジ・スマートフォンを回収しています』
- ・令和６年 １１月号掲載『雑紙の処分』
- ・令和７年 １月号掲載『びん・かん、ペットボトルの出し方』
- ・令和７年 ２月号掲載『特集 みんなで協力、ごみを資源に!!』
- ・ごみゼロ通信 No. 2 1 『資源とごみの出し方の変更点』
2 2 『小型充電式電池の出し方・プラスチックごみの出し方』

２ 施設見学会等の実施

市民を対象としたクリーンセンター等の見学会や先進市町村の視察研修などを実施し、ごみ処理の現状に対する理解の促進に取り組んでおります。

【令和６年度】

○クリーンセンター見学会

- ・令和６年 １０月 ２４日 きらめき市民大学 くらしと健康学部 ２０名
- ・令和７年 ３月 ３日 市内施設めぐり 市内公募 ２４名

３ 店頭回収等の推進

スーパーマーケットや各種小売店舗等の店頭での容器包装や使用済製品等の回収についての情報を周知し、利用の拡大を図ります。

４ 不動産管理会社とのネットワーク構築

入居者への分別指導やクリーンステーションの実態把握などに賃貸アパート等の管理を担っている不動産会社と協働して取り組みます。

５ 環境物品等の購入・使用

本市では、グリーン購入法の主旨に沿って、環境負荷の低減に資する物品等の調達に取り組んでおります。

基本方針 3 適正処理・適正処分の推進と今後の方向性の明確化

クリーンセンター及び西本宿不燃物等埋立地の計画的な維持管理を行い、長寿命化・延命化を図りながら、引き続き適正な処理・処分を進めます。

また、新たなごみ処理施設については、西本宿不燃物等埋立地内の中間処理機能を一体化するなど、本市にふさわしい施設の方向性を明確化するとともに、早期稼働を目指して計画的に取り組みます。

1 収集・運搬に関して

循環型社会の実現、快適な生活環境の保全を図りながら、効率的な収集・運搬体制の整備を目指します。

○雑がみの排出方法の見直し

令和4年度に雑がみの出し方に「紙袋に入れて出す」を追加し、継続して周知啓発を図りました。

○プラスチック類の資源回収の検討

国は、新たな分別区分「プラスチック資源」を設ける方針（プラスチック資源循環戦略）を明らかにしました。しかし、すでに資源物として分別している事例があることから、本市では、それらを参考に新たな分別区分とするか検討を進めます。

【令和6年度】

令和4年4月に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づき、令和6年度よりプラスチック製容器だけでなく、プラスチック製品を含めたプラスチック類の全量を対象とし、「（公財）日本容器包装リサイクル協会」を通じて、再商品化を進めました。

○高齢者等に対する支援策等

東松山市社会福祉協議会が実施する「支え合いサポート事業」の一つとして、クリーンステーションまでのごみ出し支援を行っていますが、今後ますます高齢化が進むことが想定されるため、支援制度の具体的な検討を進めます。

【令和6年度】

高齢者向けのごみ出し支援制度を検討するための情報収集を進めました。

2 中間処理について

可燃物は焼却処理により減容化と減量化を行うとともに、びん・かん、ペットボトル及び紙類・布類等については、資源化を推進します。また、不燃物や粗大ごみは、金属類の資源化のほか、減容化を行います。また、クリーンセンターの延命化を図りつつ、新たなごみ処理施設の早期稼働を目指し検討を進めます。

【令和6年度】

新たなごみ処理施設の整備に向けた検討を行うため学識経験者や公募市民を構成メンバーとする「東松山市新ごみ処理施設検討委員会」を立ち上げ、計4回の検討委員会を開催しました。

検討委員会では新施設の施設規模や処理対象物、概算事業費などについて調査・検討を行いました。

3 最終処分に関して

ごみの発生抑制、循環的利用を進め、最終処分量の削減に努めます。また、埋立処分と浸出水処理施設の適正管理を通じて、周辺環境の保全に努めます。

○施設整備計画

最終処分場は、今後も引き続き使用が可能であるが、耐用年数を超過した設備や老朽化した設備の延命化を図るため、現状把握や工期、費用等を勘案しながら、施設整備計画を策定します。

【令和6年度】

年度毎の施設整備計画を作成し、設備等の修繕工事を行うとともに水質・灰等の試験分析を行い、施設を適正に管理しています。また、最終処分場の延命化を図るとともに、非常時のリスク分散を行うことを目的に、灰の処理委託先を1箇所追加しました。

東松山市

ごみ処理基本計画年次報告書
(資料編)

ごみ処理事業の経過（東松山市ごみ処理基本計画 P. 21）

和暦	年 月 日	項 目
平成 9年	1997年 7月 1日	5分別収集開始
平成 9年	1997年 7月 1日	紙類・布類収集開始
平成10年	1998年 8月	クリーンリーダー制度施行
平成11年	1999年 4月	クリーンセンター24時間連続運転開始
平成13年	2001年 4月 1日	プラスチック類指定法人委託
平成13年	2001年 4月 1日	家電リサイクル法施行に伴い、家電対象品目を収集対象から除外
平成13年	2001年 7月	ペットボトル指定法人委託
平成13年	2001年 7月 1日	減容処理ペットボトルライン追加
平成14年	2002年 3月	クリーンセンターのダイオキシン類削減対策工事实施
平成14年	2002年 4月 1日	ペットボトル分別収集開始
平成15年	2003年 4月 1日	事業系一般廃棄物処理手数料改正 60円/10kg→120円/10kg
平成15年	2003年10月 1日	パソコンリサイクル法施行に伴い、パソコンを収集対象から除外
平成16年	2004年 2月 1日	資源物持ち去り禁止を条例で制定
平成19年	2007年 4月 1日	びん・かん選別処理委託開始
平成19年	2007年 4月 1日	粗大ごみ破碎処理委託開始
平成20年	2008年 2月	ごみ処理基本計画策定
平成22年	2010年 4月 1日	事業系一般廃棄物処理手数料改正 120円/10kg→200円/10kg
平成26年	2014年 4月 1日	飛灰運搬及び処理開始
平成27年	2015年 4月 1日	埼玉中部資源循環組合設立
平成28年	2016年11月	外国語版 資源とごみの分別収集計画表 5か国語（英・中・韓・スペイン・ポルトガル）
平成29年	2017年 4月 1日	生ごみ処理容器「キエーロ」補助開始
平成29年	2017年 7月 1日	「ごみ散乱防止ネット」交付開始
平成31年	2019年 3月20日	災害廃棄物処理計画策定
平成31年	2019年 4月 1日	クリーンステーション設置補助開始
令和元年	2019年10月12日	令和元年東日本台風（台風第19号）に伴う豪雨により、市内の広範囲で被害が発生
令和2年	2020年 3月31日	埼玉中部資源循環組合解散
令和3年	2021年 3月19日	災害廃棄物処理事業完了。処理量8,049.25t。
令和3年	2021年 4月	ごみ処理基本計画策定
令和3年	2021年 9月 1日	外国語版 資源とごみの分別収集計画表 ベトナム語版追加 6か国語（英・中・韓・スペイン・ポルトガル・ベトナム）

和暦	年 月 日	項 目
令和4年	2022年 2月	クリーンセンター精密機能検査、中長期修繕計画作成
令和4年	2022年 3月31日	クリーンステーション設置補助廃止
令和5年	2023年 1月27日	災害等対応のための共助基本協定締結 (株)ウィズウェイストジャパンと協定締結
令和5年	2023年 6月 1日	資源とごみの分け方・収集日検索サイト導入
令和5年	2023年 7月 9日	災害廃棄物処理模擬訓練実施
令和5年	2023年10月 1日	インボイス制度開始「適格請求書等保存方式」 領収書に内税明記（事業系・多量系）
令和5年	2023年10月 4日	東松山市新ごみ処理施設検討委員会条例制定
令和6年	2024年 4月 1日	プラスチック類一括回収開始
令和6年	2024年 4月 1日	新ごみ処理施設整備準備室設置

ごみ排出量の実績（東松山市ごみ処理基本計画P. 23）

表3-2 ごみ排出量の実績

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
総人口（10月1日住基人口）（人）	89,819	90,178	90,216	90,320	90,407	90,306	90,659	91,018	91,077
総排出量（t/年）	30,049	30,197	30,639	31,523	31,602	30,614	29,734	28,086	27,809
家庭系ごみ（t/年）	23,132	23,067	23,228	23,578	24,518	23,492	22,905	21,950	21,814
可燃物（t/年）	16,436	16,355	16,470	16,714	17,219	16,614	16,328	15,689	15,709
不燃物（t/年）	1,394	1,419	1,455	1,511	1,728	1,486	1,351	1,321	1,298
粗大ごみ（t/年）	44	52	55	58	72	69	67	68	65
プラスチック類（t/年）	1,871	1,896	1,911	1,968	2,079	2,017	1,933	1,857	1,840
びん・かん（t/年）	845	823	803	800	835	790	754	700	689
ペットボトル（t/年）	297	315	319	335	339	356	344	344	343
紙類・布類（t/年）	1,638	1,607	1,630	1,680	1,863	1,803	1,768	1,656	1,598
集団回収（t/年）	607	599	586	512	383	357	359	315	272
事業系ごみ（公共含む）（t/年）	6,918	7,130	7,411	7,945	7,084	7,122	6,829	6,136	5,995
可燃物（t/年）	6,757	7,002	7,282	7,866	6,901	7,051	6,715	6,046	5,851
不燃物（t/年）	161	128	130	79	183	71	115	90	144
1人1日当たり総排出量（g/人日）	917	917	930	954	958	929	899	843	836

※ 災害廃棄物、受託処理を除くが、委託処理は含む。可燃物に含まれる粗大ごみ、不燃物に含まれる粗大ごみは、粗大ごみとして計上した。また、不燃物に含まれるプラスチック類、びん・かん、ペットボトルは別に計上した。

※ 環境省一般廃棄物処理事業実態調査の結果に基づき実績値の修正をする場合や、端数処理のため数値が整合しない場合あり。

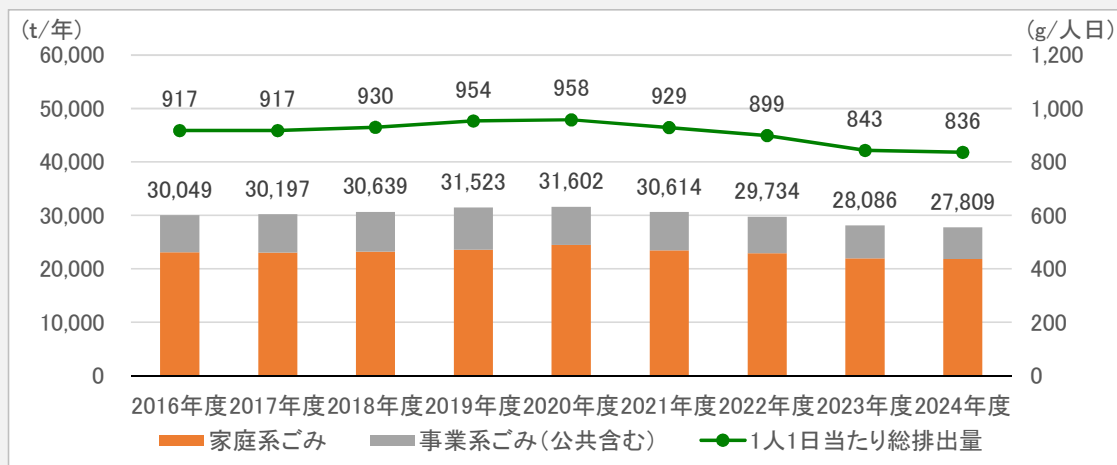


図3-1 ごみ排出量の推移

発生抑制・再資源化の方法及び実績（東松山市ごみ処理基本計画P. 31）

表3-9 キエーロの販売数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
キエーロ A	(38)	60	59	29	22	14	15	17	12
キエーロ B	(5)	47	33	30	15	21	20	21	25
キエーロ C	—	32	9	18	16	16	19	13	15
計	(43)	139	101	77	53	51	54	51	52
累計		139	240	317	370	421	475	526	578

() : 2016年度はモニター数



キエーロ A と キエーロ B



キエーロ C

表3-10 集団回収における資源回収量の実績

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
資源回収量	606, 907	599, 418	586, 091	512, 060	382, 670	356, 749	359, 370	314, 661	272, 237
ダンボール (kg)	109, 417	123, 145	134, 678	123, 165	118, 283	120, 155	121, 791	107, 635	91, 303
新聞 (kg)	370, 973	360, 395	333, 560	275, 581	182, 145	155, 440	158, 568	136, 706	115, 545
雑誌 (kg)	108, 245	99, 256	101, 733	98, 885	77, 288	77, 049	74, 552	64, 009	59, 677
牛乳パック (kg)	5, 594	5, 817	6, 557	4, 129	3, 570	2, 847	2, 175	3, 053	2, 802
布類 (kg)	12, 678	10, 805	9, 563	10, 300	1, 384	1, 258	2, 284	3, 258	2, 910
交付申請数	154	151	153	137	115	103	115	112	101
奨励補助金額 (円)	2, 427, 628	2, 397, 672	2, 344, 364	2, 048, 240	1, 530, 680	1, 426, 996	1, 437, 480	1, 258, 644	1, 088, 948

資源化量の実績（東松山市ごみ処理基本計画P. 32）

表3-11 本市の施設での資源化量の実績

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
総排出量 (t/年)	30,049	30,197	30,639	31,523	31,602	30,614	29,734	28,086	27,809
資源化量 (t/年)	6,356	6,306	6,454	6,423	6,593	6,304	6,211	5,891	5,531
プラスチック類 (t/年)	1,395	1,367	1,473	1,457	1,519	1,502	1,515	1,467	1,461
金属類・びん・かん (t/年)	1,046	1,011	1,075	1,080	1,205	1,077	1,040	1,042	942
ペットボトル (t/年)	273	283	279	299	294	293	307	289	313
廃乾電池 (t/年)	9	9	10	7	7	9	9	9	8
紙類・布類 (t/年)	1,839	1,854	1,857	1,877	2,022	2,025	1,961	1,847	1,780
羽毛 (t/年)	2	2	2	3	3	2	1	2	2
焼却灰の資源化 (t/年)	1,185	1,181	1,172	1,188	1,160	1,039	1,019	920	753
集団回収 (t/年)	607	599	586	512	383	357	359	315	272
リサイクル率 (%)	21.2%	20.9%	21.1%	20.4%	20.9%	20.6%	20.9%	21.0%	19.9%

※集団回収、焼却灰の資源化を合わせて資源化量とした。

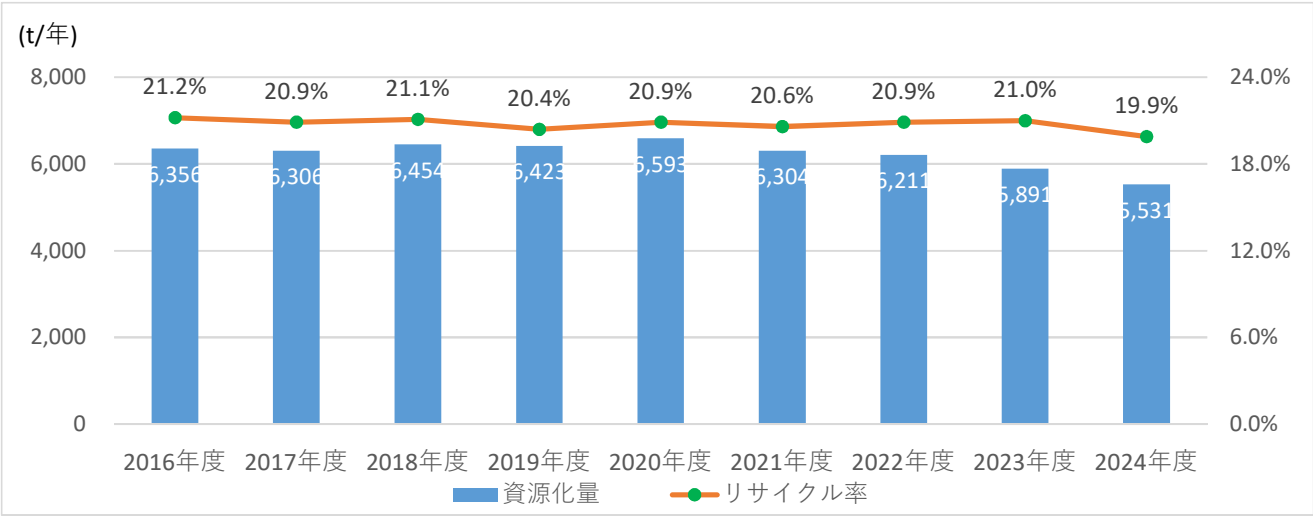


図3-3 資源化量の推移

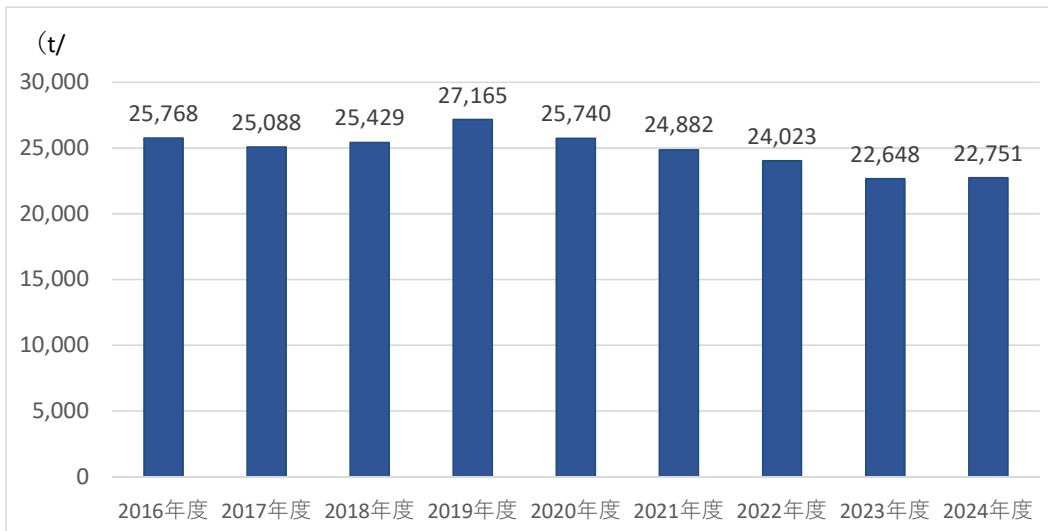
中間処理、最終処分の実績（東松山市ごみ処理基本計画P. 39）

表3-18 中間処理及び最終処分の実績

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
クリーンセンター搬出入量 (t/年)	25,768	25,088	25,429	27,165	25,740	24,882	24,023	22,648	22,751
施設搬入量 (t/年)	25,768	25,088	25,429	27,165	25,740	24,882	24,023	22,648	22,751
家庭系可燃物 (t/年)	16,436	16,355	16,470	16,714	17,219	16,614	16,328	15,689	15,709
家庭系粗大ごみ (t/年)	22	26	25	28	32	33	30	32	30
事業系可燃物 (t/年)	6,624	6,858	7,151	7,729	6,775	6,938	6,604	5,916	5,725
公共その他 (t/年)	133	144	130	138	119	112	110	129	126
可燃残渣 (t/年)	1,026	1,007	1,031	1,039	1,150	1,013	913	861	876
紙類・布類の返品 (t/年)	33	18	21	40	104	23	33	26	42
受託処理※1 (t/年)	1,495	680	601	159	206	149	-	-	247
委託処理※2 (t/年)	-	-	-	-575	-	-	-	-5	-5
災害廃棄物 (t/年)	-	-	-	1,893	135	0	5	0	1
搬出物 (t/年)	3,237	3,096	3,024	3,428	3,117	3,033	2,876	2,696	2,693
紙類・布類(羽毛含む) (t/年)	236	268	250	239	266	246	227	219	225
焼却灰の資源化 (t/年)	1,185	1,181	1,172	1,188	1,160	1,039	1,019	920	753
焼却灰 (t/年)	1,635	1,480	1,428	1,829	1,534	1,594	1,484	1,411	1,480
処理飛灰 (t/年)	181	167	175	171	157	154	146	146	235
西本宿不燃物等埋立地搬出入量 (t/年)	4,481	4,520	4,556	4,678	5,060	4,712	4,450	4,290	4,242
施設搬入量 (t/年)	4,481	4,520	4,556	4,678	5,060	4,712	4,450	4,290	4,242
家庭系不燃物 (t/年)	1,394	1,419	1,455	1,511	1,728	1,486	1,351	1,321	1,298
プラスチック類 (t/年)	1,871	1,896	1,911	1,968	2,079	2,017	1,933	1,857	1,840
びん・かん (t/年)	845	823	803	800	835	790	754	700	689
ペットボトル (t/年)	297	315	319	335	339	356	344	344	343
粗大ごみ (t/年)	22	26	30	29	40	36	38	36	35
事業系不燃物 (t/年)	39	30	28	28	29	18	18	22	26
公共等(汚泥、沈砂除く) (t/年)	13	10	11	7	10	9	12	10	11
搬出物 (t/年)	4,430	4,422	4,535	4,542	4,873	4,629	4,430	4,227	4,165
可燃残渣 (t/年)	1,026	1,007	1,031	1,039	1,150	1,013	913	861	876
不燃残渣 (t/年)	682	746	668	659	698	735	646	559	565
プラスチック類 (t/年)	1,395	1,367	1,473	1,457	1,519	1,502	1,515	1,467	1,461
びん・金属類 (t/年)	1,046	1,011	1,075	1,080	1,205	1,077	1,040	1,042	942
ペットボトル (t/年)	273	283	279	299	294	293	307	289	313
廃乾電池 (t/年)	9	9	10	7	7	9	9	9	8
一般廃棄物最終処分場処分量 (t/年)	2,606	2,481	2,360	3,023	3,662	2,527	2,361	2,174	2,141
直接埋立(汚泥、沈砂) (t/年)	108	87	90	45	144	44	85	58	106
不燃残渣 (t/年)	682	746	668	659	698	735	646	559	565
焼却灰 (t/年)	1,635	1,480	1,428	1,829	1,534	1,594	1,484	1,411	1,358
処理飛灰 (t/年)	181	167	175	171	157	154	146	146	112
災害廃棄物(がれき類) (t/年)	-	-	-	319	1,129	-	-	-	-

※1 受託処理とは本市以外から受け入れている一般廃棄物のこと

※2 委託処理とは本市以外へ搬出する一般廃棄物のこと



※災害廃棄物、受託処理を含む

図3-6 クリーンセンター搬入量

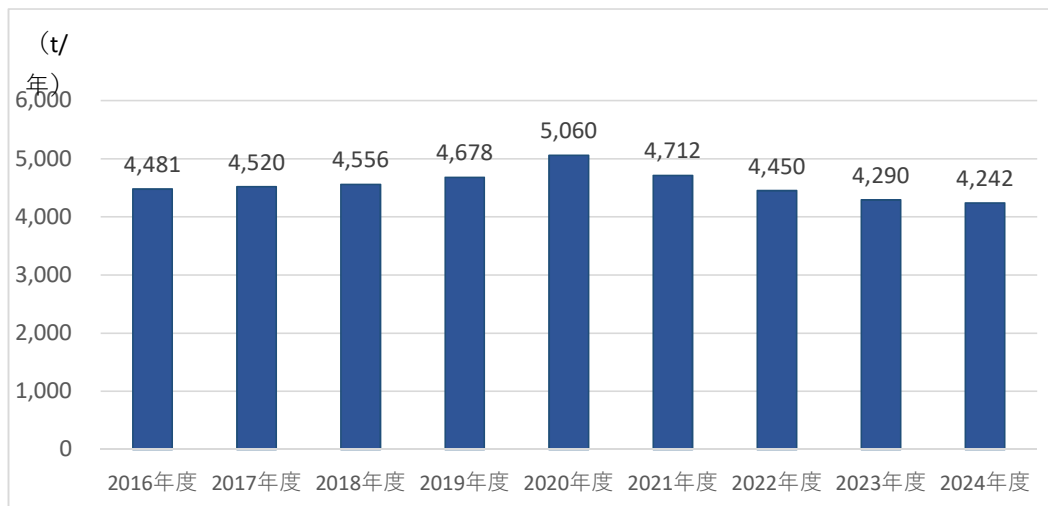
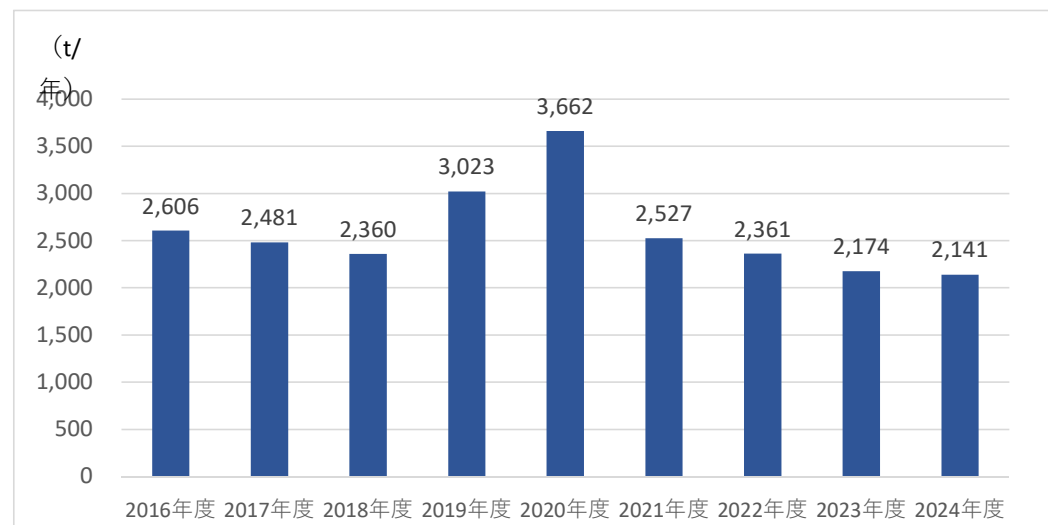


図3-7 西本宿不燃物減容処理施設搬入量



※災害廃棄物を含む

図3-8 最終処分量

ごみ処理経費（東松山市ごみ処理基本計画P. 42）

表3-19 ごみ処理経費

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
廃棄物処理費用（総計）	（千円）	998,950	1,030,683	1,009,249	966,469	948,246	970,390	1,054,506	1,205,379	1,279,318
	収集運搬費（千円）	169,273	169,703	170,631	194,488	195,301	194,875	226,081	228,116	234,265
	中間処理費（千円）	598,494	593,530	578,705	599,272	627,543	650,818	698,144	808,998	832,492
	最終処分費（千円）	34,256	30,958	33,322	33,851	31,409	26,795	39,819	34,930	48,314
	人件費等（千円）	113,005	111,842	113,422	104,502	93,993	97,902	90,462	133,335	164,247
	組合分担金（千円）	83,922	124,651	113,169	34,355	-	-	-	-	-
人口	（人）	89,819	90,178	90,216	90,320	90,407	90,306	90,659	91,018	91,077
1人当たり処理費用	（円/人）	11,122	11,429	11,187	10,700	10,489	10,746	11,632	13,243	14,047
総排出量（集団回収除く）	（t/年）	29,442	29,598	30,053	31,011	31,219	30,257	29,375	27,771	27,537
1t当たり処理費用	（円/t）	33,929	34,823	35,583	31,165	30,374	32,072	35,898	43,404	46,458

※2016年度以降、組合分担金は別計上とした。

総排出量（集団回収除く）は、災害廃棄物、受託処理を除くが、委託処理は含む。

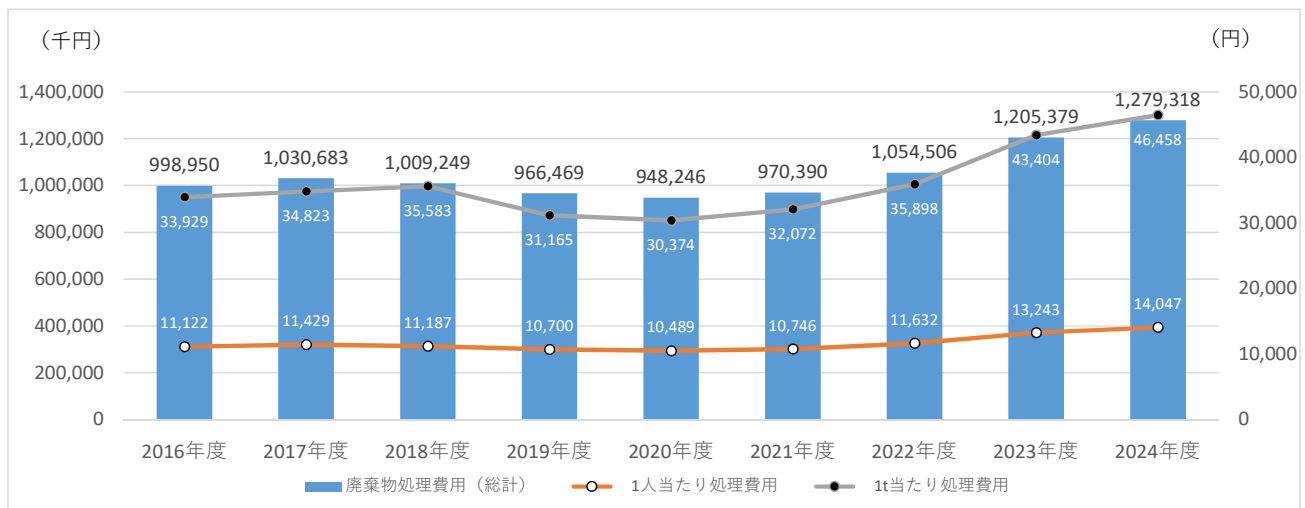


図3-9 ごみ処理経費の推移